

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の実施状況及び効果検証報告

I 「感染拡大の防止」 ～地域の命を守る～

単位：円

担当課	事業名	事業目的	事業実績と成果	総事業費	
					交付金充当額
<b>医療提供体制の強化</b>					
地域医療課	地域外来検査センター事業	PCR等検査体制の整備、ドライブスルー方式の検査センターを開設・運営	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染症疑い患者に対して迅速に検査を行うための体制を整備した。これにより、検査センターを週2回、通算で36回開設し、延べ177人の感染症疑い患者に対して検査を行うことができた。感染者の早期発見につながった。	21,050,295	11,213,000
地域医療課	医療機関の施設整備事業に係る病院事業会計繰出・補助	入院患者用の陰圧室整備のため病院事業会計へ繰出	生駒市立病院病室6室を陰圧化対応病室にするための改修を行った。これにより、延べ572人の陽性患者の受入と延べ271人の疑似症患者の受入を行うことができた。市民のコロナ感染による遠方への入院に対する不安軽減及び陽性患者の受入に効果があった。	24,978,800	20,978,000
警防課	防災活動支援事業(救急隊員)	救急搬送時に感染症患者搬送装置(アイソレーター)を使用し、ウイルスの拡散を防ぎ、救急隊員等への二次感染を防止	令和2年9月15日から感染症患者搬送装置(アイソレーター)の運用を開始した。令和2年度中、42人の救急搬送に使用し、救急隊員への二次感染の防止を図ることができた。	1,375,000	1,374,000
警防課	救急活動支援事業	感染防止着等を整備し、救急隊員の感染防止及び熱中症対策を実施	感染症対策として感染防止着、マスク、手袋、シューズカバー等を購入した。また、熱中症対策として冷感ベストを購入した。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、感染防止資器材の供給が安定しない状況において、救急業務を継続するため、感染防止着等の感染症対策品を確保した。また、救急隊員が冷感ベストを着装することで、感染防止着の着用による熱疲労の軽減を図ることができた。	5,750,464	5,746,000
<b>学校の臨時休業等に伴う環境整備や支援</b>					
こども課	子ども・子育て支援交付金	小学校臨時休業により平日午前中から学童保育を開所するための人材確保及び利用料減免等に要する経費を助成	小学校の臨時休業により、平日午前中から学童保育を開所した。また、家庭保育への協力をお願いし、利用料の還付を行った。これにより、保護者が安心して就労できる環境を整備することができた。また、家庭保育の協力により、「密」になることを避けて保育することができた。	29,542,445	7,370,000
こども課	保育園等保育料還付	市の要請に基づき公立保育園において家庭保育に協力いただいた保護者に対して、保育料及び給食費を日割り還付	保護者に対し、保育料・給食費の還付を行った。保育料・給食費を還付することで、家庭保育の協力を促進することができた。	6,360,564	6,355,000
学校給食センター	学校給食費支援事業	臨時休校に伴い不要となった食材費を保護者に求めず生活を支援	4月給食予定の食材のうち、キャンセルできず不要となった食材の費用について、保護者に負担を求めず生活を支援した。	557,631	557,000
学校給食センター	生活支援事業	保護者に対する経済的負担の軽減及び安心して学校再開を迎えてもらうため、市立小中学校の再開後2か月分の給食費無償化を実施	給食再開後2か月分の給食費無償化を実施し、保護者に対する経済的負担の軽減に繋がった。	100,160,438	100,084,000
学校給食センター	学校臨時休業対策費補助金	学校給食の中止により既発注食材の補償を納入事業者へ実施	令和2年3月の学校給食の中止に伴い、学校給食用食材納入業者に対し、既に発注された食材に係る補償を実施し、納入業者の負担を軽減した。	9,968,991	2,492,000
健康課	地域自殺対策強化交付金	不安や悩みを抱える人に身近な場所で気軽に相談できる場所を提供	自殺予防対策事業として生駒こころの健康相談「はーとほっとルーム」を実施するにあたり、心理士を雇った。同相談利用者は、91名であった。	600,000	300,000
<b>運営支援体制の拡充</b>					
健康課	休日夜間応急診療事業の維持	外来患者激減に伴い収入が減少している休日夜間応急診療所を市民サービスを低下させることなく維持するため、必要な支援を実施	新型コロナウイルスの感染状況により受診動向にも変化が見られたこと、休日夜間応急診療所が県の発熱外来医療機関の認定を受けたことによる補助金の収入等もあり、32,673千円の委託料の増額を実施した。最終的には精算を行い3,419千円収入、実質29,254千円となった。	29,254,431	29,232,000

担当課	事業名	事業目的	事業実績と成果	総事業費	
					交付金充当額
事業計画課	コミュニティバス運行支援事業	運賃収入が減少しているコミュニティバスを市民サービスを低下させることなく維持するため、必要な支援を実施	コミュニティバス運行継続のため、抗菌コート加工等必要な支援を行った。これにより利用者は前年度比約77%と大きく減少したものの、サービスを低下させることなく移動が必要な市民（延べ利用者数69,521人）へ活動機会を提供できた。	5,531,420	5,527,000
<b>感染拡大防止のための3密対策等</b>					
防災安全課	防災活動支援事業(避難所)	避難所における感染症対策品を購入	感染症の感染拡大防止のためマスク、非接触型体温計、手指消毒液等を配備するとともに、スポットクーラーや気化式大型冷風機を配備した。これにより避難所の感染リスクの軽減と熱中症対策を強化することができた。	120,478,046	120,387,000
学校給食センター	学校給食施設空調設備整備支援事業	夏季休業期間の学校給食調理員及び小中学校配膳員の熱中症対策のため空調設備を整備	調理員の熱中症対策として、空調設備（エアコン）を設置する工事を令和3年度に施工するために設計を実施した。工事費と施工監理委託料は次年度に繰り越した。また、学校給食調理員及び小中学校配膳員に空調服及び、小中学校配膳室にスポットクーラーを新設し、上記対策の強化を図った。	89,252,185	75,871,000
学校給食センター	学校給食施設熱中症対策事業	夏季休業期間の学校給食調理員の熱中症対策品を購入	ウォータークーラー1台、スポットクーラー1台を設置し、調理員の熱中症対策を実施した。	645,700	645,000
スポーツ振興課	市内体育館空調設備設置事業	避難所である市内体育館へスポットクーラーを設置することで、避難所開設時に快適な環境を提供し、スポーツ活動時の熱中症対策を実施	スポットクーラーを設置した。これにより、避難所の開設時には快適な環境を提供することが可能となった。また、屋内でのスポーツ活動を行う上での熱中症対策に効果があった。	38,866,300	38,837,000
図書館	電子図書館システム事業	電子書籍をオンラインで貸出	令和2年10月に導入し、令和3年3月31日現在で登録者919人、739タイトル、貸出2,441回となっている。外出を抑制しつつ、来館をためられる市民に読書の機会を提供することができたと考えられる。	2,414,600	2,412,000
<b>マスク・消毒液等の確保</b>					
総務課	感染拡大防止事業	社会生活維持のために、市役所庁舎等において消毒液・隔壁の設置を行い感染拡大防止を図る	窓口のある庁内及び出先機関には飛沫防止用のアクリル板を、また、市役所出入口には来庁者用手指消毒液を設置し、新型コロナウイルス感染症対策を強化した。これにより、市役所等でのクラスターの発生を防止することが出来た。	3,876,296	3,873,000
市民活動推進課	地域活動再開支援事業	地域活動や自治会活動が安心して行えるよう感染症対策品を購入	自治会活動の再開に向け、【消耗品】非接触型体温計130本 消毒液260本 不織布マスク6350枚 フェイスシールド600個など予防策に必要な物品を購入し、127自治会に配布することで、今後の地域活動を安心して行えるように支援した。	2,083,125	2,081,000
教育総務課	学校保健特別対策事業費補助金	学校再開等にあたり集団感染を避けるため保健衛生用品等を購入	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑えつつ、学校運営を行っていくのに必要な感染対策用品を購入した。	3,234,543	1,617,000
教育総務課	学校保健特別対策事業費補助金	感染症対策用品の購入、児童生徒の学びの保障に必要な体制整備	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑えつつ、学校運営を行っていくのに必要な感染対策用品を購入するとともに、学びの保障に必要な物品（大型ディスプレイ等）を購入、環境整備（体育大会テント借上げ）を行った。	32,846,607	16,423,000
図書館	図書除菌機導入事業	図書館資料の除菌を行なう機械を設置	令和2年12月に市内5図書館、室に各1台を設置した。利用者が自分で貸し出し本を除菌することにより、安心して本を持ち帰ることができるようになった。	4,352,700	4,349,000